

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
衣生活論	西川 光子	講義	2		2	1	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	私たちの生活において一番身近な環境である「衣」。衣服の役割、機能、人体に及ぼす影響、生産、管理、環境問題についての知識を修得することで、何を着用すべきか、経済的で心身共に健康な衣生活を営むための考え方について理解することを目的とする。						
到達目標	①自分が着用している服がどんな繊維から作られているのかを知り、その特徴を理解する。 ②衣服を長く着用するための衣服の管理を習得する。 ③環境に配慮した衣生活を考え実践する。						
回	学習内容						
1	被服の起源	ひとはなぜ装うのか					
2	被服の変遷(1)	民族服					
3	被服の変遷(2)	被服の変化と流行					
4	被服の素材(1)	繊維の種類と特徴					
5	被服の素材(2)	布の性能					
6	被服の選択	被服の色彩と消費性能					
7	被服の設計	体型に合う被服					
8	被服と健康(1)	被服による気候調節					
9	被服と健康(2)	動作適合性					
10	被服の管理(1)	品質表示と洗濯					
11	被服の管理(2)	洗剤の種類と働き					
12	被服と環境	被服の廃棄とリサイクル					
13	進化する被服(1)	機能性素材					
14	進化する被服(2)	スポーツウェアの変遷					
15	身体機能と被服の授業終了後、試験を行う。						
予習内容 復習内容	予習：事前に授業内容に目を通す。(教科書・授業資料など) 復習：授業内容の整理と実生活への応用点を考える。						
教科書	『消費者の視点からの衣生活概論』井上書院						
成績評価	授業に取り組む姿勢(20%)、レポート課題2回(20%)、試験(60%)により総合的に評価する。 毎回出席をとる。全授業回数の3分の2以上の出席が無い場合、評価の対象外とする。						
実務経験							
その他 特記事項	講義には主にテキストを使用するが、必要に応じて適宜プリントを配布する。						